



# 七州の覇

安積高校進路だより

平成29年度第1号  
平成29年4月10日発行  
安積高校進路指導部

## 平成29年度入試130期生の進路概況

### 1 高い志で難関大学に挑戦

難関大学の合格者数は、東大2名、京大1名、一橋大1名、東工大2名、名大1名、大阪大1名、東北大25名だった。東北大では、医学部2名を含み、文系・理系ともに実力を発揮した。東京外語大に2名、東京藝大には音楽、美術各1名合格も安積高校ならではの。

一方、合格の陰には涙を流した生徒たちがいることも忘れてはならない。130期生は1年次からの第一志望合格を目指して学習を続け、出願した。残念ながら今年は悔しい思いをしたが、初志貫徹で1年後には良い報告があるはずだ。期待したい。

### 2 医学部大健闘

医学部に関しては、東北大2名に加えて、福島県立医大医学科6名、自治医科大に2名、合計10名の合格を勝ち取った。特に、県立医大の合格者では、赤沼桃さんが入学者代表で宣誓を行い、地元紙で報道された。

医学部に合格するには、センター試験の高得点と、二次試験の記述力が問われる。さらに、面接試験が必須である。面接の方法や内容は大学によって異なる。県立医大では面接官3人による個人面接、自治医大は個人面接と受験生10人のグループ討論が課せられる。東北大では個人面接だけだが、5人の面接官と1回ずつ、合計5回の面接がある。どの大学でも、医学に対する思い、医療や社会への関心などを含めたコミュニケーション能力が合格の鍵である。

### 3 文武両道

今年度も多くの生徒が部活動を3年まで続けて合格を手に入れている。部活動で培った様々な経験が受験を乗り切る力になった。時間を有効に使うこと、計画的に勉強すること、授業を大切にすることなど、合格者には共通点が多い。引退してから必死に勉強するのではなく、1年次からの基礎基本をしっかりと身につけておくことが何より重要である。所属する部の先輩の良い点を見習ってほしい。



\*合格者の学習の取り組みは、安積高校新聞や合格体験記（5月発行予定）で知ることができる。また、面接の内容は進路室にある受験報告書で見ることができる。参考にしてほしい。

### 卒業生の進路概況の推移

	H29	H28	H27	H26
国公立大	129	144	144	108
私立大	97	95	91	94
次年度進学	84	70	75	98
四大進学率 %	71.7	76.6	75.1	65.8

\*進学者数であり、合格者数とは異なる

	H29	H28	H27	H26
難関大	40	34	47	33
(医学部)	8	7	8	6

\*難関大：北大、東北大、一橋大、東工大、東大、名大、阪大、九州大、福島県立医大、国公立大医学部

進路指導部は 高い志を掲げ、知性を磨き続ける生徒の進路志望の実現を図ります。

(1) 自学自習の環境整備

図書館開放 平日 16:50 ~ 18:50  
土曜開放(年間計画による) 8:15 ~ 14:00

(2) 進路行事

進路講演会、分野別講演会(1年)、大学模擬授業(2年)、他 学年集会など  
安積セミナー、OBの講演会、大学見学、研究所見学

(3) 入試情報の提供

「赤本」、「蛍雪時代」、進学情報誌、小論文の参考図書、受験報告書  
各大学の大学案内冊子、受験要項

4月～5月の予定

- 1 理化学研究所和光地区研修 70名程度  
日程: 4月22日(土) 6:30 出発予定  
\*日程が迫っているため、4月14日締切
- 2 東大五月祭見学 (本校OBの東大生の話を含む)  
日程: 5月21日(日) 6:30 出発  
\*後日要項配布

\*\*\* 4月の心得 \*\*\*

学習習慣の確立、学習時間の確保

予習 → 授業 → 復習 を習慣づけること。教科によって予習や復習の方法は異なるの

で、各学年の教科のオリエンテーションで指示されるやり方で学習すること。家に帰って着替える前に復習すると効果的だという報告もある。すきま時間の活用など、生活リズムを整えて、学習時間を確保しよう。昨年5月の学習時間調査では、学習時間の平均は、1年:2時間40分、2年:2時間15分、3年:3時間03分だった。2,3年生は高校総体を目指して力が入る時期だが、受験生としての良いスタートを切ることが大切だ。授業を中心に学習しよう。

進路希望の実現へのステップを考える

- ・1年 文型か理型かを選択するには、将来の職業、大学で何を学ぶかを考える必要がある。自分が学びたいこと、関心があることは何かを考えなければならない。その上で、学部や学科の内容を調べる。安易な文理選択は後悔のもとになる。
- ・2年 文型、理型に分かれて座学中心の1年間が始まる。進路希望を念頭に置き、各科目の学習内容を定着させよう。考える勉強をすること。
- ・3年 志望校が決まれば合格までの学習の道筋が見えてくる。志望校を目指す本気の勉強を早く始めた人が栄光を手にする。

特に3年生へ 答案の書き方を意識してほしい。答案は採点者(大学の教授等)に読んでいただくものである。字の上手下手ではない。書きなぐった文字、薄い文字、小さい文字は採点で不利になる。解答用紙の向こうの大学教授を想定して書くこと。